

I 令和4年度事業報告

当センターは、令和4年4月に組織を再編し、愛媛県の人口減少対策の方向性を踏まえ、活動の軸足を移住促進及び交流人口の拡大に置くとともに、①移住交流促進、②地域活性化促進、③人材育成促進を事業の3本柱に位置付けた。また、これまでのシンクタンク型組織から、「人口減少社会における地域の活力創造」を目的とした価値創造思考の実践型組織へとシフトを図り、新たに活動を開始した。

加えて、中期的な活動方針を新たに策定し、この方針に則して、既存事業のブラッシュアップはもとより、地域づくり団体や経済団体と連携し新規事業を積極的に実施するなど、前向きで効果的な事業運営を図った。

《今後5年間を見据えたセンター活動方針》

- 県の人口減少対策の方針を踏まえ、移住促進・交流人口の増に軸足を置いた事業遂行により「重点戦略」の目標に寄与
- 価値創造思考の実践型組織として前向きで機動的・効果的な姿勢を徹底
- マネジメント力強化と業務の効率化を図り、限られた財源の範囲で貴重な人的資源を有効活用し、新たな施策を積極展開
- 市町、団体、大学、民間等との連携により、人口減少問題に立ち向かう地域を、様々な機関が連動して多角的に支援するハブ的機能を目指す

1 移住交流促進事業

センター内に設置の「愛媛ふるさと暮らし応援センター」の機動的な運営を図るとともに、駐在する県の移住推進グループと一体となって、移住促進や交流人口・関係人口の拡大に取り組んだ。

(1)愛媛ふるさと暮らし応援センター運営事業

(愛媛県から受託)

センター内に設置の移住相談窓口「愛媛ふるさと暮らし応援センター」を運営し、移住促進に係る受入側と希望側の多様なニーズにきめ細かくかつ柔軟・的確に対応した。

◆愛媛ふるさと暮らし応援センター

〈開設日〉平成19年9月10日 〈人員体制〉4名

- ・市町の移住者誘致の取組みに対する個別指導・助言
- ・移住希望者に対する移住先の紹介及び市町への取次ぎ
移住希望者等からの個別相談件数：905件（令和3年度：517件）
- ・移住動向の調査分析
- ・移住パンフレット「えひめ暮らし」の改訂
- ・県や市町における移住関連イベントの開催支援
- ・えひめ暮らし応援隊・えひめ愛着倶楽部の運営

名称	内容	登録数
えひめ暮らし応援隊	本県の移住促進の取組みに賛同し、料金割引等のサービスを提供	29 事業者
えひめ愛着倶楽部	愛媛に愛着を持ち、将来的に移住を検討している人や移住後間もない方、本県の移住促進事業に賛同する方	94 名

(2)愛媛ふるさと暮らし応援センター情報発信等事業

(えひめ移住交流促進協議会から受託)

移住相談窓口「愛媛ふるさと暮らし応援センター」において情報発信の充実・強化を図った。

■「えひめ移住ネット」及び「えひめ空き家情報バンク」の運営及び内容の充実

開設日	掲載情報	閲覧者等
H19.9.10	・住居・就労・生活関連情報(市町 HP へのリンク等) ・移住経験者の体験談 ・移住関連イベント情報 ・住まい(空き家)情報 など	・えひめ移住ネット 閲覧者数：248,419 人 ・えひめ空き家情報バンク 登録物件数：158 件 成約物件数：20 件 (うち県外移住者成約数：8 件)

■全国移住フェアへの出展、広域連携による移住・交流イベントの運営補助

日付	名称	場所	参加市町・団体数	来場者数	相談件数
R4.7.31(土)	おいでや！いなか暮らしフェア	大阪	県 6 市町	702 組 1,263 人	43 件
R4.9.25(日)	ふるさと回帰フェア	東京	県 8 市町	18,572 人	153 件
R4.10.8(土)	中国四国もうひとつのふるさと探しフェア	大阪	県 3 市町	147 組 213 人	38 件
R4.10.15(土)	四国暮らしフェア	東京	県 4 市町	75 組 95 人	23 件
R5.1.14(土) 1.15(日)	JOIN 移住・交流 & 地域おこしフェア	東京	県 6 市町	3,391 人	85 件

■PR ツールの作成

- ・「おかえり愛媛通信 第 28 号」 4,000 部

■えひめ地域移住相談員のコーディネート

- ・地域移住相談員交流研修会の開催

日付	場所	内容	参加者数
R4.6.28(火)	愛媛県生活文化センター(松山市)	・講演「全国の移住動向と移住・定住施策の推進について」 講師：稲垣 文彦 (NPO 法人ふるさと回帰支援センター副事務局長) ・講演「相談者のニーズに応える対応～伝えるより伝わる～」 講師：瀧 周太郎 (中国・四国 UI ターンセンター長) ・講義「オンライン移住相談のノウハウとポイント」 講師：松原 香織 (えひめ移住コンシェルジュ) ・実践演習	52 名

(3)えひめの移住力総合強化事業

(愛媛県から受託)

全国的に加速化している都市部から地方への移住・交流の流れを捉え、地域の担い手となる移住希望者を確保するため、市町及び関連団体等と連携して、メインターゲットである若者世代(20代・30代)とのマッチングを図るオンライン移住フェア「愛あるえひめ暮らしフェア」を開催した。

	日程	サイト セッション数	相談件数	個別 相談	セミナー 参加	交流会 参加	かんたん 診断利用
1	R4.5.21(土) 5.28(土)	2,476	109 件	18 件	49 件	14 件	28 件
2	R4.7.2(土) 7.3(日)	4,816	77 件	14 件	26 件	15 件	22 件
3	R4.8.18(木) 9.3(土) 9.4(日)	10,689	215 件	41 件	38 件	49 件	87 件
4	R4.11.5(土) 11.12(土)	5,459	94 件	12 件	12 件	32 件	38 件
5	R5.1.12(木) 1.19(木) 1.29(日)	3,584	124 件	17 件	45 件	45 件	17 件
6	R5.2.25(土) 3.4(土)	2,359	154 件	27 件	52 件	55 件	20 件
計		29,383	773 件	129 件	222 件	210 件	212 件

(4)南予移住拡大事業

(愛媛県から受託)

県内の中でも人口減少率や高齢化率が突出して高い南予地域の担い手となる移住者誘致の拡大を図るため、南予移住マネージャーを配置し、南予への移住促進に向けた受入体制と人的ネットワークの強化、各市町や地域への移住促進に向けた仕組みづくりに取り組んだ。

〈南予移住マネージャー〉 山口 聡子

〈設置場所〉 南予テレワーク移住支援拠点 COWORKING-HUB nanyo sign
(喜多郡内子町内子 2023 内子まちなの駅「Nanze」 2 階)

- ・ 受入地域づくりと人的ネットワークの形成強化
橋渡し人材(地域移住相談員候補者)の新規開拓数 18 名
橋渡し人材との協働実施回数 29 回
- ・ 移住定住拡大の仕組みづくり
市町移住施策への提案・調整件数 22 件
- ・ 南予地域移住促進策の実践誘導
ワーケーション及び移住体験者受入件数 20 件
市町移住コーディネーターとの相談件数 26 件

(5)南予子育て移住促進協議会事業

(南予子育て移住促進協議会から受託)

人口減少率が県内平均を大きく上回るとともに、県内で唯一、人口・世帯数ともに減少している南予地域への移住促進を図るため、南予5市町(宇和島市、八幡浜市、大洲市、西予市、内子町)を対象に、子育て世帯及び将来の子育て世帯(若年者夫婦)をターゲットにした移住施策を展開した。

①「愛ある南予暮らし移住フェア」の開催

	日程	場所	内容	来場組数
1	R4.8.28(日)	コフィス 門前仲町 (東京都)	・自治体紹介 ・特産品抽選会 ・先輩移住者との暮らし しぶり座談会 ・ブースでの個別相談	27組 (うち、子育て 世帯5組)
2	R5.1.21(土) 1.22(日)	FUN SPACE DINER (大阪府)	・先輩移住者紹介 ・特産品抽選会 ・先輩移住者との暮らし しぶり座談会 ・ブースでの個別相談	20組 (うち、子育て 世帯8組)

②キモチ配達事業

南予5市町における定住促進と子育て移住のイメージアップを図るとともに、移住施策の推進に役立てるため、地場産品等の定期的な提供に合わせて暮らしに関するアンケート調査等を実施する子育て世帯(モニター)を募集した。

〈申込み〉事前申込6件、モニター確定2件

(6)首都圏企業テレワーカー誘致強化事業

(愛媛県から受託)

首都圏で働く企業社員を中心にテレワークが急速に普及する中、ポストコロナにおける企業テレワーカーの移住促進及び県内への企業合宿型ワーケーションの誘致による交流人口の拡大を図るため、「愛媛発の暮らし方改革の提案」をコンセプトに、首都圏企業向けにオンラインセミナーを開催した。

■オンラインセミナーの開催

	日付	内容	参加者数
1	R4.8.22(月)	〈テーマ〉 「えひめでテレワークのススメ～非日常を四国の西海岸で～[釣り編]」 ・基調講演「えひめでテレワークのススメ」 ゲスト：久保 正明 (サイボウズ(株) ローカルブランディング部長) ・対談「[釣り]×[南予]」 ゲスト：西垣 哲哉 (グローブライド(株) イベント企画課)	17名
2	R4.12.12(月)	〈テーマ〉 「私、愛媛にテレワーク移住しました！テレワーク移住実践者のえひめ暮らしレビュー」 ・トークセッション ゲスト：稲見 益輔 (一社)愛媛コワーキングコミュニティ代表理事) 小松 賢司 (テレワーク移住実践者)	18名

■営業ツールの作成

・「TELEWORK EHIME」 1,000部

(7)移住と雇用のマッチング促進支援事業

南予地域における移住と雇用のマッチングに向けて、人材確保を図る事業者の移住者心理への理解促進及び事業者と移住相談窓口とのつながりをつくるため、企業に就職した移住者や雇用した事業者を交えて、地域の事業者等との意見交換会を開催した。

〈日時〉 令和5年3月20日(月) 14:30～16:00

〈会場〉 八幡浜商工会議所

〈内容〉 (第1部)移住促進の取組みの紹介

①(公財)えひめ地域活力創造センターについて

②データで見る移住者の傾向

③移住希望者の視点から見た働きやすさとは

④移住と雇用のマッチングサイト「あのこの愛媛」の活用

(第2部)意見交換

ファシリテーター：板垣 義男((一社)えひめ暮らしネットワーク代表)

ゲスト：イヨスイ(株) 荻原 寿夫(取締役)、中園 真典、大淵 もも

〈共催〉 愛媛県商工会議所連合会、愛媛県商工会連合会

〈協力〉 (一社)えひめ暮らしネットワーク

〈参加〉 15 社

2 地域活性化促進事業

センター職員がアドバイザーとして現場に飛び込み、市町や地域づくりの担い手の方々と一緒に活動し、地域の資源や特性を生かした交流と賑わいづくりに取り組んだ。

(1)えひめ地域活力創造フォーラム開催事業

地域住民の自主的・主体的な地域活性化意識の醸成を図るため、地域づくりに関するフォーラムを開催した。

◆第1回 えひめ地域活力創造フォーラム

令和2年度から3年間実施している「集落活性化意識醸成支援事業」の集大成として、当事業に関わる地域づくり組織のメンバーや地区サポーターとして参加した大学生を中心に、参加者相互のネットワークづくりを図る情報交換の場として開催した。

〈テーマ〉 地域と世代をつなぐきっかけづくり

〈日時〉 令和5年1月21日(土) 13:30～16:30

〈会場〉 (本会場)久万高原町柳谷支所

(リモート会場)四国中央市関川公民館、長浜町商工会

愛媛県立長浜高等学校、西予市渡江集会所

西予市横林集会所、地域交流拠点施設ほっこり奥松

愛媛大学 CRI-1(共通講義棟 B 1 階)

〈内容〉 (第1部)講演「地元から世の中をつなぎ直す時代」

講師：藤山 浩((一社)持続可能な地域社会総合研究所長)

(第2部)パネルディスカッション

「地域と世代をつなぐ～共に進化するきっかけと仕組み」

コーディネーター：笠松 浩樹(愛媛大学社会共創学部准教授)

コメンテーター：藤山 浩

パネリスト：柳井川地域づくり協議会、みらいの関川を考える会

長浜町商工会、愛媛県立長浜高校、かりとりもさくの会

横林地区自治振興協議会、奥松瀬川創生会議

香月 敏孝(愛媛大学非常勤講師)

竹島 久美子(愛媛大学社会共創学部助教)

愛媛大学社会共創学部生

〈共催〉 愛媛大学社会共創学部

〈参加者〉 130 名

(2) 集落活性化意識醸成支援事業

(愛媛県から受託)

地域住民が主体となって持続可能な集落の維持・活性化を推進するため、地域住民の意識醸成を図り、あわせて地域に継続的に関わっていく関係人口づくりに取り組んだ。

〈実施箇所〉 ①大洲市長浜地区、②四国中央市関川地区、③久万高原町柳井川地区

〈参加者〉 各地区地域づくり団体等

地区サポーター(愛媛大学社会共創学部生 33 名)

〈主な内容〉・専門家による地区の人口分析

笠松 浩樹(愛媛大学社会共創学部准教授)

- ・地区サポーターを中心としたフィールドワークの実施
- ・地域分析ワークショップ及び報告会の開催

()は学生数

年月	①長浜地区(9)	②関川地区(11)	③柳井川地区(13)
R4.5		フィールド前研修(14)	
6	フィールド前研修(12)		フィールド前研修(13)
7	まちづくり協議会総会(1)	フィールドワーク(5)	地域ワークショップ(2)
8	関係者ヒアリング(1)		地域ワークショップ(2)
9	フィールドワーク(4)		フィールドワーク(3)
10	フィールドワーク(9)	地域ワークショップ(10)	フィールドワーク(11)
11	フィールドワーク(7)	フィールドワーク(11)	フィールドワーク(11) 地域ワークショップ(10)
12		フィールドワーク(10) 地域ワークショップ(11)	
R5.1			地域ワークショップ(7) えひめ地域活力創造フォーラム(3)
2	フィールドワーク(3)	地域ワークショップ(7)	
3	成果報告会(1)	成果報告会(1) 地域ワークショップ(6)	成果報告会(1)

(3) 集落情報交換・ネットワーク構築事業

(愛媛県から受託)

県内の地域づくり活動に携わるメンバーを対象として、人口減少下の地域づくりに関する課題の共有や意見交換など、地域の将来を考えるための研修交流会を開催し、積極的に取り組む地域でのフィールドワーク等を通じて、参加者の相互理解促進やネットワーク化に取り組んだ。

	日付	場所	参加者数
1	R4.9.17(土)	西予市渡江集会所ほか	25 名
2	R4.12.11(日)	西予市渡江集会所ほか	26 名

(4) 元気な集落づくり応援団「関係人口」創出事業

(愛媛県から受託)

地域活動の担い手が不足している集落を応援するため、祭りや清掃等の手伝いを希望する集落とボランティア活動で応援したい企業・大学等をマッチングすることで、集落と都市との交流促進、関係人口の創出に取り組んだ。

	日付	場所	内容	応援者数
1	R4.6.5(日)	松山市久谷地区	「松山くぼの町ホテル祭り」イベント開催支援	5 名
2	R5.1.28(土)	上島町高井神島	高井神港周辺の草刈り、清掃	10 名

(5)地域づくり情報誌発行事業

((公財)愛媛県市町振興協会から受託)

①ネットワーク情報誌「舞たうん」の編集・発行

地域づくりに関する事例や最新情報、センターの業務などを紹介する情報誌「舞たうん」を発行し、会員や県内外の地域づくり関係者に配布した。
(各 2,500 部)

番号	特集テーマ	発行
Vol.149	地域活性化をサポートする調査研究活動	令和4年7月
Vol.150	デジタル化が地域を変える ～地域づくりにおけるD Xの可能性～	令和4年11月
Vol.151	学生が地域を変える ～地域の活力づくりの新しい形～	令和5年3月

②えひめイベント BOX ウェブサイトの制作・編集

地域におけるイベントを市町単位で広く発信する「えひめイベント BOX」について、最新情報の常時提供や検索性を高め、利用者の利便性向上を図るため、これまでの紙面に替えてウェブサイトを作成した。

(6)一社一村活力創出事業

令和5年度に東京都港区が全国の自治体と共同実施する「連携自治体ワーケーション促進事業」について、当センターによる同区への働き掛けを通じて、県内3市町が対象自治体として選定された。

(7)地域づくり団体との協働事業

地域づくり活動を積極的に展開する団体等との連携を図り、それぞれの長所を生かした協働による課題解決の取組みの促進を図った。

①えひめ地域づくり研究会議との協働事業

・「人口減少社会に挑む！フォーラム 2022」

〈テーマ〉「今、少子化がヤバイ！」

〈日時〉 令和4年12月10日(土) 13:30～16:30

〈会場〉 愛媛大学ひめテラス及びリモート配信

〈内容〉 (第1部)基調スピーチ

「子どもを産み育てたくなる『社会』はどうやって出来上がったのか？」

講師：笠松 浩樹(愛媛大学社会共創学部准教授)

リレー・トーク

市毛 友一郎(メルカドデザイン デザイナー)

上本 隆弘(砥部町山村留学センター センター長補佐)

村上 智子(えひめ結婚支援センター コーディネーター)

(第2部)グループディスカッション

「地域で子供を産み育てること～その可能性と課題～」

〈共催〉 (公財)えひめ地域活力創造センター

愛媛大学社会連携推進機構

愛媛大学社会共創学部

〈参加者〉 会場 26 名、リモート配信 52 名

②「四国へんろ道文化」世界遺産化の会との協働事業

・「四国へんろ道文化」世界遺産化の会 2023 年次フォーラム

〈日時〉 令和 5 年 3 月 19 日(日) 13:20~17:00

〈会場〉 久万高原町産業文化会館研修室

〈内容〉 (第 1 部)基調講演

「熊野古道の再発見と地域価値の発掘－世界遺産への道」

講師：三石 学(熊野市文化財専門委員長)

(第 2 部)基調講演

「地域が支えた四国遍路とその文化」

講師：胡 光(愛媛大学法文学部教授)

(第 3 部)パネルディスカッション

「世界遺産の熊野古道から学ぶ、四国遍路文化と地域価値の再発見」

〈協賛〉 (公財)えひめ地域活力創造センター

えひめ地域づくり研究会議

〈参加者〉 50 名

3 人材育成促進事業

「地域づくりは人づくり」を基本として、地域の特性に即した課題の解決を図るリーダーの育成や将来の地域を担う人材の掘り起こしなどの人づくりを進めていくとともに、多様な地域づくり人材との人脈の構築に取り組んだ。

(1)「地域づくり力」講座開催事業

(愛媛県から受託)

地域づくり活動の中心となる人材の育成やスキル向上を図るため、県内の先進事例や集落づくりの手法を学び、関係者のネットワーク形成に資する実践研修を実施した。

〈テーマ〉 地域づくりに必要なファシリテーション能力について

〈日程〉 全 6 回(令和 4 年 7 月~10 月)

〈会場〉 愛媛大学ひめテラス

鬼北町コワーキングスペース Warmth ほか

〈講師〉 前田 眞(愛媛大学社会連携推進機構地域協働センター南予 教授)

山口 聡子((一社)えひめ暮らしネットワーク 参事)

谷 益美((株)ONDO 代表取締役)

〈参加者〉 24 名

(2)大学生と県内企業によるアイデア会議開催事業

(愛媛県から受託)

大学生の地元定着に向けて、大学生の地域や地元企業への理解・関心を高めるとともに、地域資源や地域人材の魅力を認識させるため、大学生が地元企業と協働して商品企画等を行うワークショップを開催した。

〈日程〉 全 2 回(10 月)

〈場所〉 サイボウズ松山オフィスほか

〈参加企業及びテーマ〉

・サイボウズ(株)松山オフィス

「ワーケーションの候補地として愛媛をもっと選んでもらえるようにするには？」

・イヨスイ(株)

「～真鯛の世界戦略～養殖真鯛を世界でブレイクさせるには？」

・(株)エス・ピー・シー

「『県民生活情報アプリ』で大学生向けチャンネルを運用するには？」

〈参加者〉 県内の大学生 10 名

(3) まちづくり活動アシスト事業

まちづくりに関するワークショップやイベントの開催、広報資料の作成などの活動を行う団体等に対して、活動費の一部を助成し、地域におけるまちづくり活動の活性化と活動事例を発表する機会を通じた団体間のネットワークづくりの促進を図った。

(助成額：各 150 千円)

団体及び事業名	市町	活動内容
(一社)宇和島 SDGs 社会教育事業団 「宇和島圏域小中学校 SDGs 貝絵アート展示会・コンテスト」	宇和島市	貝殻の清掃・研磨作業の委託による社会的福祉機能の創出及び新しい地元産品の消費拡大を目的とした貝絵アート展示会・コンテストを開催
うずい祭り実行委員会 「うずい祭り実行委員会活動事業」	西条市	多世代の協働によるソーシャルキャピタルの形成や地域の一体感の醸成を図る音楽フェスティバル「うずい祭り」を開催
NPO 法人 Lien 「みんなのポケット～子育てに悩んでいる保護者へ～」	伊予市	「保護者が気軽に相談できる場作り」の一環として実施している子ども食堂等の活動と団体の周知啓発のため、ホームページを制作
黄色い丘盛り上げ隊 「黄色い丘のイヨミモザまつり 2023」	伊予市	地域の賑わい創出のため、佐礼谷の黄色い丘にミモザ(アカシア)を植え「イヨミモザまつり」を開催
双海町ジュニアリーダー会 「海岸線憩いのフォトスポット事業」	伊予市	交流人口の増加による地域の活性化及び SNS を通じた地域の魅力発信のきっかけを作るため、フォトスポットとなるベンチを制作・設置
みらいの関川を考える会 「学生ソーシャルビジネスプランコンテスト in 関川」	四国中央市	地域課題解決及び郷土愛醸成を図るため、小学生から高校生までを対象としたソーシャルビジネスプランコンテストを開催
五十崎企画委員会 「ものづくり五十崎！クラフト交流事業」	内子町	新旧住民又は来街者との交流促進及び次世代のものづくりの担い手育成を図るため、使用されなくなったタバコの自販機で、地元のアーティストや子どもたちが作成したクラフト商品を販売

(4) えひめ地域活力創出アワード・高校生支援事業

次世代の地域づくりの担い手となる若い世代の活動を支援し、地域活力の創造と持続可能な地域社会構築を目指して、高校生が主体となった地域づくりに関する実践活動を表彰する「えひめ地域づくりアワード・ユース 2022」を開催した。

〈募集内容〉 高校生が主体となった地域活性化、地域づくりのための実践活動
(学校等での課題研究、部活動、サークル活動、自主研究等の活動など)

〈審査〉 第一次審査：書面
最終審査：第一次審査結果の上位グループ等における作品の発表

〈表彰〉 最優秀賞、優秀賞、審査員特別賞、特別賞、奨励賞

〈最終審査及び表彰式〉

日時：令和 4 年 12 月 17 日(土)

場所：愛媛県男女共同参画センター

表彰	学校名	グループ等名	タイトル
最優秀賞	大洲農業高校	果樹班	環境に配慮した果実袋の開発 ～「バショウ」から始まるサステイナブルな農業～
優秀賞	西条高校	輝安 KOU 房	輝安 KOU 房活動中～西条市にある、世界一を守れ!!～
優秀賞	伊予農業高校	伊予農業高校生活科学科食物班	#いよはよい→#えひめはよいプロジェクト ～#広めたいよ#地域食材&伝統工芸品～
審査員特別賞	南宇和高校	地域振興研究部	愛南ゴールドから始まる持続可能なまちづくり
審査員特別賞	新居浜商業高校	—	七福芋ものがたり

(順不同)

(5)(一財)地域活性化センターとの連携事業

令和4年4月に地域活性化センター(東京都)と締結した「地域の活力創造に向けた事業実施及び人材育成に関する連携協定」に基づき、相互の職員交流やインターン派遣、共同事業を実施し、職員の人材育成や地域づくりの支援などに取り組んだ。

①地域活性化センター主催セミナー等の受講

賛助会員として、地方創生セミナー(オンライン開催)に参加するなど、全国の先進事例や地方創生に向けて様々な分野で先進的な取り組みを習得した。

〈地方創生セミナー〉

開催日	テーマ	主任講師
R4.11.16(水)	地域活性化起業人	岩見 義明 (東武トップツアーズ(株))
R4.12.14(水)	公務員の働きがい	・島根県海士町半官半 X 特命担当課 ・公務員 Shift プロジェクト(山形県)
R5.1.18(水)	コミュニティナース	コミュニティナースカンパニー事務局

②相互インターンシップの実施

両センターの職員が一定期間、インターンとして互いの業務や事業に携わり、職員の資質向上や組織を超えた人的ネットワークの構築を図った。

〈当センターから地域活性化センターへのインターン〉

日程	参加者	主な内容
R4.8.1～8.5 (5日間)	2名	・地域経済循環分析業務の実践 ・地方創生セミナーの運営 「地域経済循環分析」「フューチャーデザイン」 ・人材養成塾、前Pゼミの受講

〈地域活性化センターから当センターへのインターン〉

日程	参加者	主な内容
R4.10.18～ 10.22 (5日間)	4名	・「大学生と県内企業によるアイデア会議」運営 ・「集落活性化意識醸成支援事業」フィールドワーク ・「地域づくり協働体通信」取材 ・伊予市双海町での産業体験 ・伊予市におけるワーケーションの可能性について意見交換・勉強会への参加

③「ワーケーションプログラム(モニタリング)」の共同実施

地域活性化センターの新規事業「ワーケーションインターン事業」をサポートし、内子町を拠点に実施したほか、令和5年度に実施するワーケーションプログラムのモデル事業を、伊予市を加えた三者で共同実施した。

④その他の連携

- ・地域活性化センター情報誌「地域づくり」への寄稿
令和4年6月号、令和5年2月号
- ・地域活性化センターによる「舞たうん」への寄稿
第151号(令和5年3月発行予定)
- ・「えひめ地域づくり協働体通信」の共同制作

4 その他関連事業

(1)ホームページ等による情報発信

センターのホームページや SNS(Facebook)を通じて、事業活動の紹介や地域づくりに関する各種情報を広く周知した。また、各事業の実施に当たってはパブリシティ活動に努め、メディアによる露出を図った。

(2)調査等受託事業

- ・愛媛県観光物産関係事業者満足度調査事業((一社)愛媛県観光物産協会より受託)